

# 平成 26 年度 自己評価報告書

評価対象期間 自：平成 26 年 4 月 1 日  
至：平成 27 年 3 月 31 日

学校法人お茶の水学園  
専門学校お茶の水スクール・オブ・ビジネス  
自己評価委員会

# 項目別の自己評価表

## 1. 学校の教育目標

### 【教育理念】

「相手のことを理解し、自分でものを考え、行動する人を育成する。」

### 【教育目標】

ビジネス知識、資格、コミュニケーション能力を身につけた事務のエキスパートを社会に送り出す。

- ・ビジネス知識：時代のニーズをつかみ、ビジネスの基本を知る。
- ・資格：知識の裏付けとなる資格に挑戦し社会に出る自信をつける。
- ・コミュニケーション能力：相手を思いやり自分で考え発信できる力をつける。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### (1) 資格取得率の維持・向上

平成 25 年度については、簿記検定。MOS 検定を中心に 7 種 17 科目の検定を実施。

各検定とも基礎～中級レベルの合格率は全国平均と比較しても非常に高い水準にある。

今年度も少人数制クラスの特長を活かし資格取得率の維持を目指す。

### (2) 退学率の低減

早期把握、対応に努めるとともに、保護者との連携を強め、退学率 0% を目指す。

クラス担任・就職指導担当による個別面談により学生の悩みや不安の解消に努める。

### (3) 就職率の維持・向上

平成 25 年度卒業生の就職率 92% を維持。卒業前の全員内定を目指す。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

##### 【総括】

ビジネス分野の専門学校として67年間にわたり実践教育を行ってきた。会計、パソコンスキルを中心とした実務教育と「笑顔の挨拶」を第一としたヒューマンスキル教育で卒業生の就職先企業からも大きな信頼を受けている。

また、少人数クラス制により生徒一人ひとりに目の行き届いた指導を行っている。

一方で、ビジネス系学校の特色を入学希望者に伝えることに苦慮している。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・学校の理念・教育・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3
・学校における職業教育の特色は何か	4	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学校等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	3

#### ① 課題

- 教育理念、教育目標を明確に定められたが、業界のニーズの把握、保護者等への周知が一部不足している。

#### ② 今後の改善方法

- 就職先、求人企業先へのヒアリングをさらに進める。
- 教育課程編成委員会を活用し業界ニーズの把握に努める。
- 保護者等への周知に向け、保護者面談の実施、広報誌、インターネットを活用した周知の機会を増やす。

#### ③ 特記事項

## (2). 学校運営

### 【総括】

職員は少人数のため、運営方針や事業計画の共通理解は進んでおり、意思決定についても校長を中心に有効かつ迅速な対応が可能である。諸規定の整備において不十分な点があり、すみやかに整備をすすめる。

情報公開について平成 27 年度早期に実施する。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	2
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	2	2
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3

### ① 課題

- 運営組織、各委員会諸規定などの整備は進んだ。今後の運用でさらに充実させていく。
- 情報公開に関する準備が遅れ平成 26 年度中の公開はできなかった。

### ② 今後の改善方法

- HP 充実・改善の討論。企業、学生、保護者等からの意見の聞き取り。
- HP での情報公開への準備を平成 27 年度中に整える。
- 募集活動の改善とともに、定員の削減を検討する。

### ③ 特記事項

### (3). 教育活動

#### 【総括】

これまで積み上げてきた教育課程の実績により、資格取得指導やキャリア教育の基礎は確立されている。学生からの授業評価を実施し教員の指導法改善にも取り組んでいる。今後はさらなる業界ニーズの研究と実践的で魅力的なカリキュラム開発のため教育課程編成委員会を中心に継続的な改善を行う。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	3
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	2
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3	2
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3	2
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	2
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	2

#### ① 課題

- 企業実務者からの演習授業、インターンシップ等によりキャリア教育の推進を行ってきたが、組織的・継続的な取り組みと仕組み作りが必要である。
- 外部講師を招聘し教職員研修会を開催。今後は外部研修への参加、さらなる専門性を高める研修の開発が必要となる。
- 授業評価について学生アンケートを実施しているが、アンケート結果による評価や次年度授業改善に結びつける体制が不十分である。

#### ② 今後の改善方法

- 教育課程編成委員会を中心に、最新の業界ニーズを反映したカリキュラムづくりに取り

組む。

- 教員研修計画に基づき、外部研修、専門研修への参加を強化する。さらに定例講師会において研修結果の共有を図り、教職員の質向上につなげる。
- 授業評価アンケートの結果を教育課程編成委員会・定例講師会に活用する。

③ 特記事項

#### (4). 学修成果

##### 【総括】

雇用動向に大きく左右されることなく安定した就職率を達成してきた。また、少人数制クラスによる授業で高い資格取得率を維持している。  
卒業生に関する情報については就職担当者が就職先企業へ訪問し聴き取りを行っているが体系的な評価方法や情報収集について整備が必要である。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・就職率の向上が図られているか	4	3
・資格取得率の向上が図られているか	4	3
・退学率の低減が図られているか	3	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	2

##### ① 課題

- 平成 26 年度卒業生は就職率 100%を達成した。次年度以降もキャリア支援、求人開拓を継続し、成果につなげる。
- 企業からのフィードバックを受ける体制が不十分である。

##### ② 今後の改善方法

- 平成 26 年 9 月に同窓会を実施。卒業生がいつでも相談に来ることのできる開かれた学校づくりを行う。
- 就職先企業・卒業生へのアンケートの実施。

##### ③ 特記事項

## (5). 学生支援

### 【総括】

クラス担任・就職指導担当による個別面談や日常の声掛けなど学生と教職員の距離が近く相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。また教職員間で学生に関する情報共有を行い、学生のちょっとした変化を見落とすことなく指導・支援を行っている。

ここ数年でメンタル不調を訴える学生が増えており、医療機関との連携も含め体制づくりが必要となる。

これまでは問題のある学生のみ保護者面談を行ってきたが、3者面談・保護者説明会などの実施を検討する。

今年度より高等学校への出前授業を実施、好評をいただいている。次年度はさらに機会を増やしていきたい。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・進路・就職に対する支援体制は整備されているか	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	2	2
・保護者と適切に連携しているか	3	3
・卒業生への支援体制はあるか	4	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	2

### ① 課題

- メンタル面での問題を抱える生徒の増加に対応する体制づくりが必要である
- 課外活動に関してはボランティア団体の紹介などを行っているが活発とは言えない。現状の生徒数ではクラブ活動も難しい。
- 生活環境への支援として提携学生寮の確保を行っている。
- 高等学校への出前授業を開始。次年度はさらに回数を増やし、連携を強化する体制を整える。

### ② 今後の改善方法

- 周辺医療機関と連携し、メンタル不調の学生をリファーできる体制づくりを進める。
- 

### ③ 特記事項



## (6). 教育環境

### 【総括】

学習設備については実務に対応するべく適切な更新を行っている。防災備蓄の整備、防災訓練の実施も計画的に行われている。

インターンシップをカリキュラムに取り入れているが、実施時期・実施期間・実習内容など受け入れ先企業とさらなる調整が必要となる。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3
・防災に対する体制は整備されているか	4	3

### ① 課題

- インターン実施時期・実施期間（現状は1年次夏休み1週間程度）が適切か。
- 多様な業種、職種に対応したインターンシップの受入企業の確保が必要である。

### ② 今後の改善方法

- 長期インターンや有給インターンについて企業との調整を進める。
- 協力企業の拡大に取り組む。

### ③ 特記事項

## (7). 学生の受入れ募集

### 【総括】

学生募集については低調が続いている。これまでのインターネットや広報媒体を中心とした手法の見直しが急務である。入学希望者、保護者、高等学校教員との面談機会を増やし、当校の特色・教育活動について丁寧に告知していく。

学納金については演習・実習科目の充実のため適正価格を正確に算出し改正する。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・学生募集活動は、適正に行われているか	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	2
・学納金は妥当なものとなっているか	2	4

### ① 課題

- これまで、web や広告媒体に頼った学生募集活動を行ってきたが成果は思わしくない。広報手法の見直しが必要である。
- 検定合格率、就職率といった数字の成果は伝えているが、就職後の満足度や就職先企業からの評価の高さなど、数字にならない成果を伝える手法が必要となる。
- 学納金については学生募集の不調から低価格に頼り過ぎている。今後、実習・実務演習を行うために適正な金額に改める必要がある。

### ② 今後の改善方法

- 次年度に向け入学希望者・保護者・高等学校教員と直接面談できる機会を増やすため、広報担当者の増員を検討する。
- 資格取得、就職実績のほか、卒業生や就職先企業の評価を伝える。
- 学納金について見直しを行う。特に実習演習科目の充実に伴う費用を適正に算出する。また、テキスト代・検定料等を明確に伝える。

### ③ 特記事項

## (8). 財務

### 【総括】

東京都の実施する委託職業訓練が安定して受託できているため財務基盤は安定している。当年度の予算・収支計画はおおむね計画通り執行された。今後施設の修繕費増加が見込まれるため予算計画を慎重に行う。  
平成 27 年度に財務情報のホームページ公開を行う。

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや適切… 2、不適切… 1

評価項目	H26	H25
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	3	1

### ① 課題

- 社会人向け講座が堅調であり財務基盤は安定しているが、専門課程の入学者確保が急務である。
- 予算・収支についてはおおむね計画どおりに執行されているが、今後設備の老朽化により修繕費等の支出増が見込まれる。
- 平成 26 年度中の情報公開を目指していたが、公開が間に合わなかった。

### ② 今後の改善方法

- 施設整備計画と予算計画を精査する。
- 財務諸表公開を平成 27 年度前期に行う。

### ③ 特記事項

## (9). 法令等の遵守

### 【総括】

厚生労働大臣の指定校であり法令の基準を遵守し、適正な運営が行われている。  
平成 27 年度早期に自己評価結果の公開を行う。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	3	3
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3
・ 自己評価結果を公開しているか	3	1

#### ① 課題

○ 自己評価結果の公表のための準備をすすめる。

#### ② 今後の改善方法

○ 自己評価に伴う改善作業をすすめ、改善結果のチェックを的確に行う。

○ 結果の公表を平成 27 年度前期に行う。

#### ③ 特記事項

## (10). 社会貢献・地域貢献

### 【総括】

高等学校への出前事業を実施。ビジネスマナー、面接対策、就職対策などさまざまな授業を行い、生徒・高等学校教員から好評をいただいた。平成 27 年度はさらに講座内容を充実させ実施回数を増やしていく。

ボランティア活動については活動団体の告知にとどまっている。単位認定システムの導入も含め検討を行う。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	H26	H25
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	4

### ① 課題

- 高等学校への出前授業を開始したが、さらなる社会・地域への関わりと貢献が必要となる。
- 学生へボランティア活動の周知を行ってきたが積極的な参加に至っていない。

### ② 今後の改善方法

- 千代田区の事業、町会、商工会等の活動に、積極的に参加する。
- ボランティア活動の、単位認定システムの検討。

### ③ 特記事項